

## 「あおぎん賞」

### 4団体に贈る

青森で表彰式

青森銀行は1日、県内の産業や地域の発展に貢献した個人や団体に贈る「あおぎん賞」の表彰式を青森市の青森国際ホテルで開いた。本年度は地域産業、地域貢献の2分野で4団体を選び、成田晋頭取II写真右IIが表彰状を授与した。

地域産業分野は、独立行政法人県産業技術センター（渋谷義仁理事長II同左）とシステム開発などを手掛けける八戸市の「アイテイコワーク」（觸澤篤司代表取締役）、地域貢献分野で八戸市立市民病院（今明秀院長）と深浦マグロ料理推進協議会（西崎朋会長）がそれぞれ受賞した。

自治体が公開するさまざまな情報を活用し、スマートフォンにごみ収集日などを通知するアプリ開発などが評価されたアイティコワーケの触澤代表取締役は、

「地域に課題があるということは伸び代があるということ。課題を解決しながら地域とともに成長したい」と述べた。

「深浦マグロステーキ丼」（マグステ丼）の仕掛け人で、同協議会の鈴木マグロ事務局長は「マグステ丼を通して地域総合力が養われた。ブームが終わつたと地域を笑顔にしていきたい」と抱負を語った。

同賞は1993年の青銀創立50周年を機に創設。本年度で26回目を迎える受賞は72団体9個人となつた。

（小橋徹）



平成30年11月2日 東奥日報 掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。